

本翻訳は、英文原本から参照用の目的で S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス (SPDJI) が作成したものです。SPDJI は、翻訳が正確かつ完全であるよう努めました。その正確性ないし完全性につきこれを保証し表明するものではありません。英文原本についてはこちらをご参照ください。  
<http://us.spindices.com/documents/commentary/market-attributes-gsci-201403.pdf>

## 主なハイライト

- S&P GSCI は 0.14% の上昇とほぼ横ばいで、年初来のリターンは 2.9% のプラスとなりました。
- 農産物は 7.5%、畜産物は 4.1%、それぞれ上昇しました。
- 2012 年 7 月以来最大の上昇を記録したシカゴ小麦とカンザス小麦は、3 月に指数の中で最大の上昇を遂げたコモディティとなりました。
- 豚肉は 11.2% 上昇し、2011 年 1 月以来 3 番目に大きい月間ベースの上昇を記録しました。

## マーケット寸評

S&P GSCI は 3 月に 0.14% 上昇し、年初来のリターンは 2.9% のプラスとなりました。農産物や畜産物が上昇する一方、エネルギーや金属が下落しました。

3 月に最高のパフォーマンスを示したセクターは 7.5% 上昇した農産物でした。けん引役となったのが 9.4% 上昇した穀物です。リターンが最低だったセクターは、3.4% 下落した貴金属でした。

ウクライナの政治的緊張、天候パターン、致死性豚ウイルスなどを理由に不足や不足懸念が生じ、農産物や畜産物を下支えしました。一方、米国の製造データや経済データがまちまちの内容であったこと、ドル高、米経済が強さを増している兆しなどが金属のサブセクターへの下方圧力となりました。

## セクター別レビュー

### 農産物

S&P GSCI 農産物指数は月間で 7.5% 上昇し、年初来で 15.9% 上昇しました。穀物は月間ベースで全て上昇しました。シカゴ小麦は 15.8%、カンザス小麦は 13.4%、それぞれ上昇しました。トウモロコシは 8.3%、大豆は 3.5%、それぞれ上昇しました。ソフト・コモディティはまちまちでした。綿花は 7.3%、砂糖は 0.6%、それぞれ上昇する一方、コーヒー豆は 1.3%、ココアは 0.06%、それぞれ下落しました。

#### 執筆者:

ジョディー・ガンズバーグ, CFA  
バイスプレジデント  
[jodie.gunzberg@spdji.com](mailto:jodie.gunzberg@spdji.com)

マリア・アルサティ・モラッド  
アソシエイトディレクター  
[maria.alsati-morad@spdji.com](mailto:maria.alsati-morad@spdji.com)

コモディティ・マーケット分析レポートでは、S&P GSCI インデックス・シリーズの値動きからコモディティ市場の動向を解説します。市場全体のトレンドだけでなく、各商品レベルでの分析を行い、コモディティ市場の現状を掘り下げて説明します。

小麦の上昇の主な要因は、ウクライナの政情不安とカンザス州の干ばつでした。ロシアとウクライナは大規模な小麦の生産地であり、戦争や輸出禁止措置は供給不足につながる可能性があります。全米干ばつモニターによれば、米国の合計生産量の約 20%を占めるカンザス州の 84%が中程度から極度の干ばつに見舞われています。また、トウモロコシも小麦同様、ウクライナ情勢の影響を受けています。ウクライナとロシアはトウモロコシの世界全体の供給量の相当程度を占めているためです。さらに、米農務省はトウモロコシの作付面積が 1 年前に比べ 4%程度減少すると予想しています。

米農務省の報告が、綿花の供給が逼迫していることを示したことから、綿花の価格は上昇しました。在庫の低水準は価格を押し上げます。

ブラジルでは降雨があり、干ばつが緩和されたことから、最近大幅上昇していたコーヒー豆は 1.33%下落しました。それでも年初来で 58.2%上昇しています。

## エネルギー

S&P GSCI エナジー指数は月間で 1.2%下落し、年初来で 0.5%上昇しています。3 月は同セクターの全てのコモディティが下落しました。下落をけん引したのが天然ガス(マイナス 4.1%)で、続いて軽油(マイナス 2.4%)、灯油(マイナス 2.2%)、無鉛ガソリン(マイナス 1.7%)もそれぞれ下落しました。同セクターで下落が最小だったのは原油でした。西側諸国がロシアのエネルギーセクターに制裁措置を科した場合は、世界的なエネルギー供給混乱につながる可能性があることから、ブレント原油の下落幅はやや大きくなっています。米国では、消費支出の増加が WTI 原油の価格を支えました。長期予報によると、米国の広範囲で気温上昇が見込まれることから、天然ガスは下落しました。

## 産業用金属

S&P GSCI 産業用金属指数は月間で 2.4%下落しました。同セクターで下落したのは、亜鉛(マイナス 5.3%)、銅(マイナス 5.3%)、鉛(マイナス 3.7%)などでした。一方、アルミニウムは 1.1%、ニッケルは 7.9%、それぞれ上昇しました。

ベースメタルの価格への下方圧力となったのは、米国の経済データがまちまちの内容(労働市場が堅調で国内総生産(GDP)は軟調)だったことや、中国の製造業指標が軟調だったことです。

世界的なアルミの余剰状態が価格を押し下げ、多くの精錬工場の競争力をそいでいるため、米アルミ生産最大手のアルコアはブラジルの精錬所 2 カ所で 147,000 メトリックトンの生産削減を行うと発表しました。ロシアからの供給途絶への懸念から、ニッケル価格は上昇しました。

## 畜産物

3 月の S&P GSCI 畜産物指数は 4.1%上昇し、年初来で 15.0%上昇しています。肥育用牛は 2.3%上昇する一方、生牛は 0.3%下落しました。豚肉は 11.2%上昇し、同セクターの上昇をけん引しました。

温暖な気候とバーベキューシーズン開始に向け、肥育用牛は堅調でした。

ブタ流行性下痢症ウイルス(PEDV)が頭数減少につながり豚肉加工業者は低水準の在庫を奪い合いました。PEDV の被害を受けるのは主に子豚で、感染すると脱水症状を起こし、死に至ります。

## 貴金属

S&P GSCI 貴金属指数は月間で 3.4%下落し、年初来で 6.1%上昇しています。金は月間で 2.9%、銀は 7.0%、それぞれ下落しました。

イエレン米連邦準備理事会(FRB)議長が年内に債券購入プログラムを終了し、その6カ月後には利上げを開始する可能性を示唆したことから、金価格は下落しました。金価格が不安定であることから、金の現物需要は減少しました。

## パフォーマンスの要約

図表 1: 指数のパフォーマンス比較

Index Name	1 週間(%)	月間(%)	年初来 (%)	12 カ月(%)	3 年(%)	5 年(%)
S&P GSCI リスクウエイト指数	0.62	1.97	8.09	0.61	-10.35	35.99
S&P GSCI ライト・エナジー指数	1.02	1.68	5.92	-0.44	-14.74	32.97
S&P GSCI ローリスクウエイト・セレクト指数	0.61	1.65	4.80	-3.32	-13.94	37.46
S&P GSCI 3 カ月フォワード指数	1.13	0.47	2.31	2.38	-9.75	46.70
S&P GSCI ダイナミックロール指数	1.10	0.46	2.82	1.42	-7.68	38.86
S&P GSCI エンハンスト指数	1.13	0.35	2.75	1.30	-9.63	45.76
S&P GSCI ダイナミックロール・アルファライトエナジー指数*	-0.04	0.34	-0.07	-0.61	-1.17	3.74
S&P GSCI マルチプル・コントラクト指数	1.17	0.30	2.83	1.65	-9.73	40.88
S&P GSCI	1.15	0.14	2.94	1.13	-9.86	39.25
S&P ダイナミック・フューチャーズ指数	0.49	-0.49	-1.55	-0.93	-21.68	-21.22
S&P 世界商品指数	0.54	-0.79	-1.97	-0.46	-1.32	81.27
S&P システムティック・グローバル・マクロ指数	0.92	-0.92	-1.84	2.95	-14.38	16.99
S&P GSCI カバード・コール・セレクト指数	-0.82	-3.79	0.48	-10.59	-28.95	13.12

出所:S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス。データは 2014 年 3 月 31 日現在。表は図示する目的のためだけのものです。指数は管理されておらず、複数の要素を統計上合成したものです。指数を構成する証券を購入するために投資家が支払う販売手数料などは指数のリターンに織り込まれていません。当該費用によってパフォーマンスは低下します。指数そのものに直接投資することはできません。過去の運用実績は将来の運用成果を保証するものではありません。この表は、仮説に基づく過去の実績を反映している可能性があります。バックテストされたパフォーマンスに伴う限界に関してより詳しくは、本文書の巻末にあるパフォーマンス開示をご覧ください。

\*S&P GSCI ダイナミックロール・アルファライトエナジー指数については、市場中立性により証拠金リターンが打ち消されるため、超過収益を表示しています。

図表 2: S&P GSCI 指数のトータルリターン

指数の名称	1 週間 (%)	月間 (%)	年初来 (%)	12 カ月 (%)	3 年 (%)	5 年 (%)
S&P GSCI 農産物	1.25	7.47	15.91	-15.53	-18.14	26.16
S&P GSCI バイオ燃料	2.43	3.47	9.77	-22.29	-23.92	19.73
S&P GSCI エナジー	1.26	-1.17	0.49	-3.37	-5.29	45.20
S&P GSCI 穀物	0.53	9.40	16.12	-6.77	-10.62	14.06
S&P GSCI 産業用金属	2.13	-2.37	-5.35	-35.51	-35.93	30.47
S&P GSCI 畜産物	0.07	4.11	15.01	-1.17	-2.08	7.64
S&P GSCI 石油	1.21	-1.03	-0.05	-1.57	-3.57	60.16
S&P GSCI 貴金属	-2.02	-3.39	6.10	-18.28	-19.12	34.98
S&P GSCI ソフト・コモディティ	3.38	2.22	15.34	-35.14	-35.86	51.80

出所:S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス。データは 2014 年 3 月 31 日現在。表は図示する目的のためだけのものです。指数は管理されておらず、複数の要素を統計上合成したものです。指数を構成する証券を購入するために投資家が支払う販売手数料などは指数のリターンに織り込まれていません。当該費用によってパフォーマンスは低下します。指数そのものに直接投資することはできません。過去の運用実績は将来の運用成果を保証するものではありません。この表は、仮説に基づく過去の実績を反映している可能性があります。バックテストされたパフォーマンスに伴う限界に関してより詳しくは、本文書の巻末にあるパフォーマンス開示をご覧ください。

図表 3: S&amp;P GSCI 指数のトータルリターン(単一商品の指数のパフォーマンス)

指数の名称	1 週間 (%)	月間 (%)	年初来 (%)	12 カ月 (%)	3 年 (%)	5 年 (%)
S&P GSCI Aluminum	3.00	1.05	-3.17	-15.26	-45.54	-7.23
S&P GSCI Brent Crude	0.98	-0.61	-1.68	3.20	8.78	108.72
S&P GSCI Cocoa	0.51	-0.06	8.29	31.89	-5.13	-1.31
S&P GSCI Coffee	0.85	-1.33	58.19	17.62	-47.64	3.49
S&P GSCI Copper	2.68	-5.33	-9.36	-11.81	-30.18	60.43
S&P GSCI Corn	2.45	8.31	17.42	-17.87	-9.22	19.44
S&P GSCI Cotton	3.19	7.33	9.78	2.96	-41.79	127.12
S&P GSCI Crude Oil	1.99	-0.56	3.92	5.61	-12.44	29.18
S&P GSCI Feeder Cattle	0.16	2.27	5.21	11.62	-7.27	19.64
S&P GSCI Gasoil	-0.05	-2.39	-4.38	-1.97	-3.12	77.72
S&P GSCI Gold	-2.08	-2.87	6.72	-19.85	-12.40	34.36
S&P GSCI Heating Oil	0.67	-2.17	-1.85	-1.24	-7.21	62.02
S&P GSCI Kansas Wheat	-3.84	13.36	21.00	3.60	-31.07	-11.95
S&P GSCI Lead	-0.27	-3.69	-7.77	-5.71	-29.12	41.61
S&P GSCI Lean Hogs	-0.80	11.19	31.15	40.08	10.83	1.55
S&P GSCI Live Cattle	0.79	-0.26	7.16	7.51	-9.59	8.09
S&P GSCI Natural Gas	2.32	-4.05	12.78	6.15	-47.57	-79.25
S&P GSCI Nickel	-1.35	7.91	14.24	-6.15	-41.40	51.84
S&P GSCI Silver	-1.57	-7.01	1.80	-31.04	-49.27	45.26
S&P GSCI Soybean Meal	3.75	4.72	19.76	49.34	79.71	237.48
S&P GSCI Soybean Oil	-1.03	-3.27	2.49	-20.50	-39.01	-6.00
S&P GSCI Soybeans	2.70	3.54	14.46	25.79	31.57	124.87
S&P GSCI Sugar	5.52	0.63	6.23	-6.03	-27.36	43.42
S&P GSCI Unleaded Gasoline	1.12	-1.67	-1.63	-5.19	28.04	163.84
S&P GSCI Wheat	-2.41	15.78	15.27	-4.14	-34.41	-36.07
S&P GSCI Zinc	1.79	-5.34	-4.35	-1.48	-26.14	19.04

出所: S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス。データは 2014 年 3 月 31 日現在。表は図示する目的のためだけのものです。指数は管理されておらず、複数の要素を統計上合成したものです。指数を構成する証券を購入するために投資家が支払う販売手数料などは指数のリターンに織り込まれていません。当該費用によってパフォーマンスは低下します。指数そのものに直接投資することはできません。過去の運用実績は将来の運用成果を保証するものではありません。この表は、仮説に基づく過去の実績を反映している可能性があります。バックテストされたパフォーマンスに伴う限界に関してより詳しくは、本文書の巻末にあるパフォーマンス開示をご覧ください。

他のレポートもご覧になりたいですか? [こちら](#)からご登録いただければ、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスが提供する幅広い指数に関するニュースやイベント情報を受け取ることができます。



## パフォーマンス開示

S&P GSCI 3ヶ月フォワード指数の算出開始日は2008年1月3日であり、同日の終値に基づき算出されました。同指数の算出日開始日以前の全てのデータはバックテストにより作成されています。

S&P ダイナミック・フューチャーズ指数<sup>1</sup> DFI(の算出開始日は2010年2月19日であり、同日の終値に基づき算出されました。同指数の算出日開始日以前の全てのデータはバックテストにより作成されています。

S&P ワールド・コモディティ指数<sup>1</sup> WCI(の算出開始日は2010年6月5日であり、同日の終値に基づき算出されました。同指数の算出日開始日以前の全てのデータはバックテストにより作成されています。

S&P GSCI ダイナミック・ロール指数の算出開始日は2011年1月27日であり、同日の終値に基づき算出されました。同指数の算出日開始日以前の全てのデータはバックテストにより作成されています。

S&P GSCI システムティック・グローバル・マクロ指数の算出開始日は2011年8月9日であり、同日の終値に基づき算出されました。同指数の算出日開始日以前の全てのデータはバックテストにより作成されています。

S&P GSCI マルチプル・コントラクト指数の算出開始日は2012年1月26日であり、同日の終値に基づき算出されました。同指数の算出日開始日以前の全てのデータはバックテストにより作成されています。

S&P GSCI ダイナミック・ロール・アルファ・ライト・エネルギー指数の算出開始日は2012年11月19日であり、同日の終値に基づき算出されました。同指数の算出日開始日以前の全てのデータはバックテストにより作成されています。

S&P GSCI 大豆・ミール指数の算出開始日は2012年4月5日であり、同日の終値に基づき算出されました。同指数の算出日開始日以前の全てのデータはバックテストにより作成されています。

バックテストされたパフォーマンスは実際のパフォーマンスではなく、仮想的なものです。バックテスト計算は、指数が正式に算出開始された時に有効であったメソッドと同一方法に基づいています。完全な指数メソッドの詳細は、[www.spdji.com](http://www.spdji.com) から入手できます。

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、その商品の透明性を提供することで当社顧客を支援するために様々な日付を定義しています。初回評価日とは、所与の指数の(現実の、或いはバックテストの)計算値が存在する最初の日付を言います。基準日とは、指数を算出する上で固定値を設定した日付を言います。算出開始日は、指数の値が初めて現実のものとなった日付を指し、指数算出開始日以前の日付や期間に対して提供される指数値はバックテストされたものと見なされます。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、算出開始日を、例えば当社の公開ウェブサイトや外部企業へのデータフィードを通じて、指数値が一般に配信された日と定義します。2013年5月31日以前に導入されたダウ・ジョーンズ・ブランドの指数の場合、算出開始日(2013年5月31日以前においては「導入日」と呼ばれていた)は、指数の一般公表日以前には認められていた指数メソッドに対する変更がその後は認められなくなる日とされています。

過去のパフォーマンスは将来の結果を示唆するものではありません。S&P GSCI 指数、S&P GSCI エンハンスド指数、S&P GSCI 3ヶ月フォワード指数、S&P ダイナミック・フューチャーズ指数、S&P GSCI コモディティ・トレーディング戦略指数<sup>1</sup> CTSI(、S&P/BGCantor 7-10年物米国債指数、及びS&Pワールド・コモディティ指数を算出するのに使われた計算方法を予想して適用しても、提示したバックテストのリターンと同一のパフォーマンス結果が得られるとは限りません。バックテスト期間は、必ずしもインデックスの入手可能な履歴全体とは一致しません。リバランス、リバランスのタイミング、構成銘柄の追加と削除の基準、及びインデックス算出方法などインデックスの詳細については、[www.spdji.com](http://www.spdji.com) または [www.spindices.com](http://www.spindices.com) から入手できるメソッド資料を参照してください。指数に直接投資することはできません。

さらに、仮説を含む情報を持つ別の限界として、一般にインデックスは後知恵を利用して作成されています。バックテストされたデータは、後知恵のインデックス算出方法とインデックス構成銘柄選択を反映しています。仮説を含む記録は、実際の取引が持つ金融リスクの影響を完全に説明することはできません。例えば、インデックス情報を作成しているときには考慮されていなかった株式<sup>1</sup> 或いは債券、或いはコモディティ(市場に関連する数多くの要因がありますが、これらすべてが実際のパフォーマンスに影響を与える可能性があります。

指数のリターンは、投資家の資産を実際に取引して得られる結果を表していません。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス LLC は、指数を維持し、提示、或いは言及された指数のレベルとパフォーマンスを算出していますが、実際の資産を運用してはしません。指数のリターンには、それを実現する証券を投資家が購入する際に支払う販売手数料や報酬は反映されていません。こうした報酬や手数料が課されると、実際またはバックテストのパフォーマンスは提示されたパフォーマンスを下回ることになります。例えば、10万米ドルの投資に対してインデックスが12ヶ月間に10%のリターン(または10,000米ドル)を上げ、期末に年率資産ベース報酬が1.5%(または1,650米ドル)課されると、その年のネットリターンは8.35%(または8,350米ドル)となります。3年間にわたり、年率1.5%の報酬が年末に徴収され、毎年10%のリターンがあったと仮定すると、累積グロスリターンは33.10%、報酬の合計額は5,375米ドル、そして累積ネットリターンは27.2%(または27,200米ドル)となります。

## 免責事項

著作権© 2014年 ザ・マグロウヒル・フィナンシャルのグループ会社、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス LLC。不許複製 S&P Indices Market Attributes、S&P、S&P Indices、S&P 500、S&P GSCI、S&P WCI 及び STANDARD & POOR'S は、スタンダード・アンド・プアーズ・ファイナンシャル・サービシーズ LLC の登録商標です。「ダウ・ジョーンズ」は、ダウ・ジョーンズ・トレードマーク・ホールディングズ LLC (以下「ダウ・ジョーンズ」) の登録商標です。本資料の全体または一部の再配布、複製、そして(または)複写を書面による承諾なしに行うことを禁じます。本資料は、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス LLC、ダウ・ジョーンズまたはその関連会社、親会社、子会社、取締役、役員、株主、従業員、またはその代理人(これらを合わせて「S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス」という)が必要なライセンスを持たない地域におけるサービスの提供を行うものではありません。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス LLC が提供する全ての情報は、個人とは無関係であり、いかなる個人、事業体または集団のニーズに合わせて調整したものではありません。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、その指数を第三者にライセンス供与することに関連した報酬を受けています。本資料で提示するあらゆるリターンまたはパフォーマンスは、説明目的で提示して、実際のパフォーマンスを示すものではありません。過去のパフォーマンスは将来の投資成果を保証するものではありません。

指数に直接投資することはできません。指数が表すアセット・クラスへのエクスポージャーは、指数に基づく投資可能商品を通して得られます。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、第三者が提供し、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの指数のリターンに基づく投資リターンを提供することを目指す投資ファンド、またはその他のビークルを提供、推奨、販売、宣伝、または運用することはありません。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、指数に基づく投資商品が指数のパフォーマンスに正確に連動し、プラスの投資リターンを上げることについて保証しません。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス LLC は投資顧問会社ではなく、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、そうした投資ファンドまたはその他の投資ビークルに投資する適否に関して表明することはありません。そうした投資ファンドまたはその他の投資ビークルへの投資決定は、本資料で言及されたいかなる部分も信頼して実行されるべきではありません。そうしたファンドまたはその他のビークルに投資しようとする投資家に対して、投資ファンドまたはその他のビークルの発行体またはその代理人が作成する目論見書または類似文書に記載されているように、そうしたファンドへの投資に伴うリスクを注意深く検討した上で投資することを助言します。指数への証券の組入は、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスによるその証券の買い、売り、または保有の推奨ではなく、また投資助言でもありません。S&P の米国のベンチマーク指数及びダウ・ジョーンズの米国のベンチマーク指数の終値は、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスが、指数構成銘柄の各主要取引所が設定する終値に基づいて計算します。終値は S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスがサードパーティ・ベンダーの 1 社から受け取り、別のベンダーから届く価格と比較することにより検証されます。各ベンダーは終値を主要取引所から受け取ります。日中の実時間価格は、2 次検証を経ずに同様に計算されます。

これらの資料は、信頼できると考えられる情報源から一般に公衆が入手できる情報に基づき、情報提供のみを目的として作成されたものです。本資料に記載されるいかなる内容(指数データ、格付、クレジット関連の分析とデータ、モデル、ソフトウェア、またはその他のアプリケーションまたはそれからの出力)も他のいかなる部分(以下「内容」という)も、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスによる事前の書面による承認なくして、いかなる形式といかなる手段によっても、改変、リパースエンジニアリング、再製または配布、またはデータベースまたは検索システムへの保存を行うことはできません。内容を、不法なまたは未認可の目的に使用してはいけません。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス及びいかなるサードパーティ・データ・プロバイダー及びライセンサー(合わせて「S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス当事者」という)も、内容の正確性、完全性、適時性または利用可能性を保証しません。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス当事者は、いかなる過誤、遺漏についても、原因の如何を問わず、内容を用いて得られた結果について責任を負いません。内容は、「現状」ベースで提供されています。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス当事者は、特定の目的または利用に対する販売可能性または適合性についてのいかなる保証も、バグやソフトウェアのエラーまたは欠陥がないこと、内容の機能が中断されないこと、または内容が何らかのソフトウェアまたはハードウェア構成により動作することの保証も、以上を含みそれに限定されない、あらゆる明示的または暗示的保証も拒否します。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス当事者は、いかなる場合も、いかなる当事者に対しても、内容の使用に関連して発生する、いかなる直接的、間接的、偶発的、典型的、補償的、懲罰的、特殊なまたは結果的な損害、費用、経費、法的費用、または損失に対しても(逸失収入または逸失利益、及び機会費用を含みそれに限定されず)、たとえ損害の可能性について事前に通告を受けていようと、責任を負いません。

格付けやリサーチ、バリュエーションなどのクレジット関連及びその他の分析は通常、スタンダード・アンド・プアーズ・ファイナンシャル・サービシーズ LLC やキャピタル IQ インク(それらに限定されず)などの S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの関連会社が提供します。そうした分析や内容の記述は、表明された日付時点における意見の記述であり、事実を記述しているものではありません。いかなる意見、分析及び格付確認決定も、いかなる証券を購入、保有、または売却するか、または投資決定を行うことの推奨ではなく、いかなる証券の適合性を示すものではありません。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、いかなる様式または形式であれ公表後に内容を更新する義務を負いません。投資やその他のビジネス上の意思決定を行う際に、内容に頼るべきではなく、内容はユーザーやその経営者、従業員、アドバイザー、及び(または)顧客などのスキルや判断、経験の代替にはなりません。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス LLC は、受託者または投資アドバイザーとして行動することはありません。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは信頼できると考える情報源から情報を入手しますが、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、入手する情報の監査を行わず、デューデリジェンスまたは独立した検証の義務を負うこともありません。

格付け機関が、ある管轄区においてある特定の規制目的のために別の管轄区で発行された格付けを承認することを規制当局が許す限りは、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスはいつでもその裁量で、そうした承認を割当て、取り下げ、または停止する権利を留保します。S&P レーティングズ・サービスを含む S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、承認の割当て、取り下げ、または停止に起因するいかなる義務も、またそのために被ったと主張されるいかなる損害の賠償責任も拒否します。

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの関連会社は、格付け及び特定のクレジットに関連する分析に対して、通常は発行体または証券の引受会社または債務者から報酬その他の経済的便益を受ける場合があります。係る S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの関連会社は、その意見と分析を公表する権利を留保します。S&P レーティングズ・サービスから公開される格付けや分析は、そのウェブサイト [www.standardandpoors.com](http://www.standardandpoors.com) (無料)、[www.ratingsdirect.com](http://www.ratingsdirect.com) 及び [www.globalcreditportal.com](http://www.globalcreditportal.com) (有料)から入手可能であり、S&P レーティングズ・サービスの出版物や第三者再配布業者などを通じたその他の手段でも配布される場合があります。弊社の格付け利用料に関する詳しい情報は、[www.standardandpoors.com/usratingsfees](http://www.standardandpoors.com/usratingsfees) から入手できます。

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、各事業部の活動の独立性と客観性を維持するために、それぞれの活動を他から隔離しています。その結果、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの一部の事業部は、他の事業部では入手できない情報を保有する可能性があります。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、各分析プロセスの中で受け取った非公開情報の機密を守る方針及び手順を確立しています。

さらに、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、広範なサービスを、証券の発行体、投資顧問会社、証券会社、投資銀行、その他の金融機関及び金融仲介業者など多くの組織に提供しています。したがって、これらの組織から報酬その他の経済的便益を受ける可能性があります。これらの組織には、証券やサービスを推奨し、格付け評価し、モデルレポートフォリオに組入れ、評価するか別の対応を行う組織が含まれます。

グローバル業種分類基準(GICS®)は、スタンダード・アンド・プアーズ及び MSCI によって開発され、両社の独占的所有物であり登録商標です。MSCI、スタンダード・アンド・プアーズ及び GICS 業種分類の編纂、計算、作成に関わるその他の当事者のいずれも、係るデータの保証や表現(またはその使用により得られた結果)に関していかなる表明や示唆も行っており、そうしたすべての当事者は明示的に、特定の目的に照らした係るデータの独自性、正確性、完全性、販売可能性、適合性に関するいかなる保証も拒否します。前述の内容に制限を加えることなく、いかなる場合も MSCI、スタンダード・アンド・プアーズ及びその関連会社及び GICS 業種分類の作成または編纂に関わるサードパーティは、いかなる直接的、間接的、特殊的、懲罰的、結果的、その他の損害(逸失利益を含む)について、例え損害の可能性について事前に通告を受けていようと、責任を有していません。